

●生涯学習センターの利用時間枠変更

令和4年10月1日より、学習センターの施設の管理・運営を指定管理者に変更したことに伴い、利用時間枠等が変わりましたが、集会室等について利用者等の意見を踏まえ、新たな利用時間枠に変更することになりました。

・現在の利用時間枠

R4.10 ～ 現在	利用時間枠	9時 ①	10時	11時 入替時間	12時 ②	13時 入替時間	14時 ③	15時	16時 入替時間	17時 ④	18時 入替時間	19時 ⑤	20時	21時 ⑥
	現在	9時から 11時まで			11時30分から 13時30分まで		14時から 16時まで			16時30分から 18時30分まで		19時から 21時まで		21時から 22時まで



・利用時間枠変更案(令和7年度施行予定)

変更案	利用時間枠	9時 ①	10時 ②	11時	12時	13時 ③	14時	15時 ④	16時	17時 ⑤	18時	19時 ⑥	20時	21時 ⑦
	現在	9時から 10時まで	10時から 12時まで		利用時間外	13時から 15時まで		15時から 17時まで		17時から 19時まで		19時から 21時まで		21時から 22時まで

●新たな施設整備により速やかな待機児童対策を推進

本市の待機児童数は、令和6年4月1日時点で34名となりました。この状況を受け、より速やかな待機児童対策として、令和7年4月1日の開園を目的に小規模保育施設等の整備を検討する事業者に対して、施設の整備を支援するための経費の補正予算を可決しました。



●小学校の体育館トイレ、洋式化へ

小学校の体育館は避難所となることも考慮して、トイレの洋式化がされてきましたが、今回実施されることになった5校(腰越・西鎌倉・第二・大船・今泉)が洋式化になることで、すべての小学校の体育館トイレに洋式が設置されます。校舎のトイレの洋式化の声もあるため、引き続き検討してまいります。



和式



洋式

腰越クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日 7時30分～8時30分(腰越駅集合) 意見交換会を行っております。



ひなた新聞55号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年 6月 9日 生まれ (41歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT 企業へ就職後、2013年に29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年 2期目の当選。2021年 3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長



●令和5年度の決算認定議案等を可決

9月定例会では、令和5年度の決算等の認定に関連する議案があり、今回は中里議員が会派を代表し特別委員会委員となり審査しました。

3本の柱と定められた『未来を担う子どもたちを育てる環境整備』、『災害に強いまちづくり』、『鎌倉の魅力をさらに向上させる取り組み』についての評価とさらに推進していくべき取り組みなど、特別委員会での質疑と意見、本会議での賛成討論の内容を記載します。

●【戸別収集】令和7年4月から先行実施、令和8年4月からは全市実施

今年の6月定例会で予算が可決され、来年4月から段階的に戸別収集が導入されますが、7月下旬に先行実施するエリアが決定しました。

燃やすごみ 戸別収集導入	令和7年(2025年)4月～	令和8年(2026年)4月～
	七里ガ浜、鎌倉山、山ノ内、今泉、今泉台、岩瀬、笛田、大町5丁目 自治会エリア、松葉町内会エリア	市内全域で実施

住所: 鎌倉市腰越3-23-7 連絡先: 0467-32-5889

ホームページ: <https://www.hinata-kamakura.com/>

メール: hinata.shingo@gmail.com フェイスブック: 日向慎吾

X(旧ツイッター): @HinataShingo インスタグラム: @hinata.shingo



討議資料



令和5年度は前年度の「ミライツクル予算」に続き、「ミライへ育む予算」として、3本の柱を定めた鎌倉の未来に向けた予算編成となりました。

子どもたちを育てる環境整備では、小児医療費の助成対象者の対象年齢を18歳まで拡大し、給食を通じて子どもたちの健康や環境づくりのため地場産品やオーガニック食材を取り入れるなど、様々な施策の実施されました。

災害に強いまちづくりについては、納車したトイレトレーラーが令和6年1月に能登半島の珠洲市に派遣され、甚大な災害への一助となり、鎌倉においても広域災害が発生した際に大きな役割を担います。また、新たに作成した「やさしいハザードマップ」は、地域ごとに災害想定を一目でわかる工夫を凝らしたものとなり、各家庭や学校、職場、商業施設などでも、日ごろからの備えをわかりやすく可視化し、意識の醸成にも寄与します。

鎌倉の魅力さをさらに向上させる取り組みとしては、未来への基盤づくりとして、深沢地区の土地区画整理事業が令和5年10月に国の事業認可を受け、深沢地区および藤沢市村岡地区の一体的なまちづくりが進んだことは大きな一歩を踏み出したと評価しました。

今後も市民生活の安全安心と暮らしやすさを実感できる具体策を講じていくため、委員会で特に残した意見の一部を記載します。

【委員長報告】 各委員が残した意見の中で、全委員が一致した意見を本会議で委員長が報告



居場所づくりについて

子ども会館が閉館した後、放課後かまくらっ子は、子ども会館を利用していた方の新たな受皿とはなっていないことから、未就学児の親子に寄り添って、新たな居場所をつくることを求めました。



また、スポーツ施設について、市民が安全・快適に健康増進ができるよう、施設の維持・改善を求めるとともに、施設の存続や拡充については、公共施設再編計画の見直しにおいて、市民意見をしっかり反映することを求めました。



財政調整基金について

財政調整基金(財源不足などへの備え)の残高は、令和5年度決算において、約88.3億円と過去最高額であり、市が適正規模と述べてきた40億円を超えて、増え続けていることから、インフラ整備や災害に備えるための財源をはじめ積極的な財政運営を求めました。



その他に、高齢者の外出支援について、データに基づき検討する協議体の立上げや他自治体の事例を参考にするなどして、方策を決定することを求め、介護保険制度については危機的な状況にあることを強く認識した上で、制度の運営を行うことを求めました。

【会派意見】 委員長報告以外に、会派を代表して特別委員会に所属した中里議員が残した意見



生ごみ処理について

家庭系燃やすごみの半分に近い量を生ごみが占めていることから、家庭用生ごみ処理機の各家庭への設置をさらに促進するよう求めました。



(助成金額(上限3万円):電動型 75%、非電動型 90%)

職員の地域との連携について

鎌倉市職員は市の全体運営に資するため、様々な形で地域に入り、地域と共に成長できるような、さらなる能力開発を求めました。



キャッシュレス化について

市の収納業務のキャッシュレス化については、間違い防止、作業効率などを踏まえさらなる推進を求めました。



鎌倉海岸下水道整備について

鎌倉海岸下水道整備については、海岸の環境整備の観点からも一刻も早い工事開始ができるよう工程や価格などの見直しを求めました。

